



令和7年度 伊那北小学校グランドデザイン

<教育理念>

子どもたちの未来のための学びがある学校づくり

<学校づくりのねらい>

学校目標「かしこく なかよく たくましく」に向かって、個別最適な学びと協働的な学びを志向した教育活動を通して、生涯にわたって自立した学習者を育成する

<めざす学校像> 「すべての子に学びの場がある学校（内）」

「伊那北の自然・地域とともにある学校（外）」

内にも外にも
開かれた学校

<めざす子ども像>

「わたしっていいな」自己肯定感をもてる児童
「わたしはこう思う」自分の思いを自分の言葉で語れる児童
「〇〇さんだいじょうぶ」思いやることのできる児童

<めざす教師像>

「児童の声に耳を傾ける教師」（指導よりまずは理解）「児童の活動をファシリテートする教師」

<学校目標>

かしこく

なかよく

たくましく

<重点：継続的な体験活動の充実>

- 交流・発信の場づくり（学校行事・児童会活動・学級活動等の工夫）
- 校外の人とかかわる学習活動の重視（社会科、総合・生活科（里山学習）等を通して）
- 成長をふりかえる時間の重視（授業のまとめ・キャリアパスポートの活用）

♪手を取りあいて学びつつ♪

【主体的・対話的学び】

- ☆読み書き・計算力の定着
 - ・MIM、ミチムラ式漢字指導の活用（通級指導教室との連携）
 - ・A1ドリルの活用（チャレンジ伊那北の時間）
- ☆自分の目で見て調べる学習
 - ・実験や調査等を通して、事実を見て触れて感じる学習の重視
- ☆友との学び合いがある学習
 - ・タブレット共有機能の活用
 - ・対話ができる学習形態の工夫
- ☆自己調整力を育てる学習
 - ・児童の言葉で学習をふりかえる
 - ・メタ認知、次への動機づけ

♪広き世界にまじわりて♪

【人間関係力】

- ☆凡事徹底・率先垂範
 - ・あいさつ・ありがとう
 - ・そうじ・くつそろえ
- ☆ちがいを認め合える学級づくり
 - ・Q1研修の学びを実践に反映
 - ・「愉しみ」を創造する学級活動
 - ・エンカウンターを取り入れた朝の会、帰りの会
- ☆異年齢交流の推進
 - ・児童会活動、縦割り活動（こもれびの時間・業間休み）
 - ・いきいきサロン
- ☆国際理解教育の充実
 - ・日本語指導教室と連携し、お互いの文化を認めあう活動

♪清き自然にめぐまれて♪

【体験を通した心身の健康】

- ☆地域学習の充実
 - ・総合・生活科学学習
 - ・地域と協働による「里山学習プログラム」
 - ・SDGs
 - ・地域に発信したり貢献したりする場づくり
- ☆健康的な生活習慣の確立
 - ・「歯科指導」「食育」を通じた基本的な生活習慣の確立（歯ハハの時間、養護教諭や栄養士による授業）
- ☆体力・運動能力の向上
 - ・体を動かして遊べる環境づくり

教育課題 多様性を受容し、つよみに変え、自立に導く